

2023（令和5）年度
事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人日本室内楽振興財団

はじめに

2023（令和5）年度は、当財団の最も大きな事業である「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」を開催致しました。

コロナ禍での延期・中止を乗り越えて6年ぶりの開催となりましたが、様々な新しい取り組みも功を奏し、世界7大室内楽コンクールと称されるに相応しいハイレベルな大会となりました。

秋の「グランプリ・コンサート2023」では、第1部門（弦楽四重奏）の優勝団体「クァルテット・インダコ」を招聘し、全国11会場で公演を行いました。

また、室内楽の演奏活動及び教育普及活動に対する助成事業や調査研究事業、および広報誌「奏」を発行致しました。

さらに、2年後の「第12回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」の開催に向け、基本コンセプトなど策定しました。

公益事業 1

(1) 国際的な室内楽コンクールの開催に関する事業（137,253,568円）

「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ2023」を、住友生命いずみホール他にて昨年5月12日～7日間の日程で開催致しました。

世界34の国/地域から161団体の応募があり、予備審査で選出された第1部門（弦楽四重奏）10団体、第2部門（ピアノ三重奏/ピアノ四重奏）11団体、フェスタ12団体の計33団体が本大会に参加しました。

コンクールの審査は、堤剛審査委員長をはじめ、世界の室内楽界をリードする音楽家によって行われ、そのうち3名は1993年の第1回から第3回の優勝団体メンバーが招かれました。

またフェスタは、はじめて予選を大阪から離れて、富山県と三重県の2か所で開催し、大阪でセミファイナルとファイナルラウンドを行うことで他地域との連携を図りました。

1. 開催要項

《期間・会場》2023年5月12日（金）～5月18日（木）住友生命いずみホール

フェスタ1次ラウンド：富山県高岡文化ホール/三重県文化会館

《披露演奏会》大阪公演：5月19日（金）住友生命いずみホール

東京公演：5月21日（日）サントリーホール ブルーローズ

《主催》公益財団法人 日本室内楽振興財団

《共催》フェスタ1次 公益財団法人富山県文化振興財団、公益財団法人三重県文化振興財団

《後援》外務省、文化庁、大阪府、大阪市、関西経済連合会、日本演奏連盟、

大阪ビジネスパーク協議会、住友生命いずみホール、読売新聞社

《協賛》岩谷産業、大阪ガス、大林組、鹿島建設、きんでん、サントリーホールディングス、清水建設、住友生命、積水化学工業、千趣会、ダイキン工業、大成建設、竹中工務店、東芝インフラシステムズ、ハウス食品グループ、非破壊検査、フジテック

《賛助》読売テレビ

《提携協力》ボルドー弦楽四重奏フェスティバル、ストリング・クアルテット・ビエンナーレ・アムステルダム、VdSQ&Festival4(www.vdsq.de)

《特別協力》一般社団法人MK記念会

2. 各部門の応募・出場団体数

部門 団体数	第1部門 (弦楽四重奏)	第2部門 (ピアノ三重奏/ ピアノ四重奏)	フェスタ (編成の自由な アンサンブル)	合計
応募団体数	29	48(うち四重奏 6)	84	161
出場団体数	10	11	12	33

3. 各部門の概要と入賞団体

a. 第1部門（弦楽四重奏）

- ・ 1次予選出場 10団体
- ・ 2次予選出場 8団体
- ・ 3次予選出場 5団体
- ・ 本選出場 3団体

第1部門は、29団体から選ばれたクアルテット10団体が参加し、そのうち8団体が2次予選に進みました。3次予選には日本の2団体を含む5団体が進み、第10回大会のために望月京（もちづき・みさと）さんに作曲を委嘱した課題曲「Boids again」が演奏されました。

本選は、アメリカ、イタリア、日本を活動拠点とする3団体によって行われ、イタリアの「クアルテット・インダコ」が優勝しました。

〈第1部門の入賞団体〉

順位	団体名	活動拠点
第1位	クアルテット・インダコ	イタリア
第2位	ほのカルテット	日本
第3位	テラ弦楽四重奏団	アメリカ

◎MK記念会特別賞/ストリング・クアルテット・ビエンナーレ・アムステルダム賞：クアルテット・インダコ（イタリア）

◎ボルドー弦楽四重奏フェスティバル賞：タレイア・クアルテット（日本）

◎大阪国際室内楽コンクール2023アンバサダー賞：ほのカルテット（日本）、マリオン・クアルテット（ドイツ）、モーザー弦楽四重奏団（スイス）

b. 第2部門〈ピアノ三重奏/ピアノ四重奏〉

- ・ 1次予選出場 11団体
- ・ 2次予選出場 7団体
- ・ 本選出場 3団体

第2部門には、ピアノ三重奏9団体、ピアノ四重奏2団体の合計11団体が出場しました。

2予選には7団体が進み、そのうち4団体がドイツを活動拠点とするグループでした。

本選に進んだのはドイツとフランスのピアノ三重奏2団体とドイツのピアノ四重奏1団体で、審査の結果、「カピバラ・ピアノ・クアルテット」が優勝しました。

〈第2部門の入賞団体〉

順位	団体名	活動拠点
第1位	カピバラ・ピアノ・クアルテット	ドイツ
第2位	トリオ・パントゥム	フランス
第3位	トリオ・ミケランジェリ	ドイツ

◎MK記念会特別賞：カピバラ・ピアノ・クアルテット（ドイツ）

5. 堤審査委員長の総評

『コンクール、フェスタ両部門を通じて応募数が多く、今回は特に応募団体の水準が高かった為、予備審査の時点から悩みました。参加33団体の演奏を耳にして、「若さって素晴らしい」「室内楽って素晴らしい」という気持ちを強く持ちました。若さの持つエネルギー、情熱、音楽に対する愛が演奏に現れていて、私たち審査委員も非常に心を動かされました。

また、世界トップレベルの審査委員に大阪へ来ていただけたことは、成功の一つの要因だったと思います。今回素晴らしいコンクールを実施できたことは、大変意義がある歴史的なことであったと思います。大阪から世界へ発信するという、国際交流という意味でも大きな貢献ができたことに感謝申し上げます。』

6. まとめ

期間中会場には、国内はもとより国際音楽コンクール世界連盟のフロリアン・リエム事務局長はじめ、ホノルル室内楽協会など海外の音楽関係者が視察や取材に訪れ、国際的にも注目を集める大会となりました。

コンクール第1部門では「ほのカルテット」が第2位を獲得しました。第2回大会(1996年)の「クアルテット・エクセルシオ」以来となる日本の団体としての最高位に並びました。

コンクール第2部門では、応募48団体のうちピアノ三重奏が42団体でした。しかし予備審査、コンクール予選、本選の大変厳しい審査を経て優勝に輝いたのは、大会史上初のピアノ四重奏団「カピバラ・ピアノ・クアルテット」でした。

フェスタでは、これまでの優勝団体が全てロシア(4回)、あるいはヨーロッパの団体でしたが、今回モンゴルの「テンゲル・アヤルグー」が、アジアからの参加団体で初めて優勝しました。

コンクール&フェスタの記録について

2020年5月に予定していた「第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」は、開催直前の世界的なパンデミックにより開催の1年延期、そして中止となりました。しかしながら開催準備は整い参加団体も発表しておりましたので今後の記録としては、第10回大会(2020年)は中止、昨年開催した「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ2023」は第11回大会とし、次回(2026年開催)は第12回とします。

大阪国際室内楽コンクール2023 第1部門（弦楽四重奏）優勝団体

クアルテット・インダコ(Quartetto Indaco)（イタリア）



ヴァイオリン：エレオノラ・マツノ (Eleonora MATSUNO)

ヴァイオリン：イダ・ディ・ヴィータ (Ida DI VITA)

ヴィオラ：ジャミアング・サンティ (Jamiang SANTI)

チェロ：コジモ・カロヴァニ (Cosimo CAROVANI)

クアルテット・インダコは、今日、同世代のイタリアの弦楽四重奏団の中でも特に注目を集めるアンサンブルであるとみなされている。フィエーゾレ音楽院とハノーファー音楽演劇大学（オリヴァー・ヴィレの指導のもと、室内楽の修士号を取得）を卒業後、キジアーナ音楽院でギュンター・ピヒラーのマスタークラスを受講。2017年にスコッティーズ賞、プレミオ・パオロ・ボルチアーニコンクールでファイナリスト選出、マンハッタン国際コンクールゴールドメダルなど数々の国際的な賞や奨学金を獲得している。「コンパクトなアンサンブルで、エナメル質と高揚感で満ちている」と表現され、Brillant Classics、EmaVinci、ミラノのSconfinateなどに録音を残している。イタリアの著名な音楽祭や機関に招聘され、ヨーロッパ各地や海外でも定期的に演奏している。

■演奏曲■

1次予選： A. ウェーベルン／弦楽四重奏のための5つの楽章 op. 5

L. v. ベートーヴェン／弦楽四重奏曲 第4番 op. 18-4

2次予選： B. バルトーク／弦楽四重奏曲 第4番 Sz. 91

J. ブラームス／弦楽四重奏曲 第2番 op. 51-2

3次予選： L. v. ベートーヴェン／弦楽四重奏曲 第10番 op. 74

望月 京／「Boids again」

本 選： F. シューベルト／弦楽四重奏曲 第15番ト長調 D887

大阪国際室内楽コンクール2023 第2部門(ピアノ三重奏/ピアノ四重奏)優勝団体

カピバラ・ピアノ・クアルテット(Capybara Piano Quartet) (ドイツ)



ピアノ：マリオ・ヘリング(Mario HÄRING)

ヴァイオリン：岡田脩一(Shuichi OKADA)

ヴィオラ：近衛剛大(Takehiro KONOE)

チェロ：ミンジ・キム(Minji KIM)

カピバラ・ピアノ・クアルテットは、ヨーロッパ中から集まった4人の若手ソリストの出会いから誕生した。2021年に名門小澤アカデミーで、原田禎夫と今井信子に指導を受ける機会を得た岡田脩一(ヴァイオリン)、近衛剛大(ヴィオラ)、ミンジ・キム(チェロ)が出会い、室内楽への情熱を持つ3人は、ピアニストのマリオ・ヘリングと共にクアルテットを結成することを決意。それぞれが主要な国際コンクール(ARD、ジュネーヴ、パウロ、リーズ、クライスラー、カサド)での入賞経験を持ち、ヨーロッパや海外の大舞台で定期的にソリストとして、また室内楽奏者として出演している。

■演奏曲■

1次予選： A. シュニトケ/ピアノ四重奏曲

W. A. モーツァルト/ピアノ四重奏曲第1番 K. 478

2次予選： S. スタッキー/ピアノ四重奏曲(2005)

G. フォーレ/ピアノ四重奏曲第2番 op. 45

本選： 細川俊夫/「レテの水」(2015)

J. ブラームス/ピアノ四重奏曲 第3番 op. 60

大阪国際室内楽フェスタ2023（2名～6名の室内楽、楽器編成は自由）優勝団体

テンゲル・アヤルグー(TENGER AYALGUU)（モンゴル）



ヨーチン：バダルチ・バトオルシフ (Badarch BAT-ORSHIKH)

リンベ：ツェベグスレン・ツェレンバルジル (Tsevegsuren TSERENBALJIR)

エベルブレー：ジュルメドドルジ・ノルドグ (Jurmeddorj NORDOG)

馬頭琴：テムージン・プレブフー (Temuujin PUREVKHUU)

バス馬頭琴：ムンフエルデネ・エルデネバト (Munkh-Erdene ERDENEBAT)

テンゲル・アヤルグーは、1997年にモンゴル国立文化芸術大学の学生と卒業生によるモンゴルのエスニック音楽五重奏団であり、古代文字に記録されたモンゴルの伝統的な民族芸術の保存と普及活動を行うために結成された。以来、日本、韓国、台湾、ロシア、ハンガリー、フィンランド、イタリアそしてアメリカといった国々で演奏活動を行い、国際的な音楽祭やコンクールで受賞している。また、CDアルバム、ミュージックビデオをリリースし、楽曲編曲に関する書籍も出版している。メンバーの多くは大学教授であり、コンサートでの演奏だけではなく、調査活動にも従事している。

■演奏曲■

1次ラウンド：エ・チョイドグ／美しいモンゴルについて ※

テンゲル・アヤルグー／古代モンゴル史について ※

W.A. モーツァルト／トルコ行進曲（ロンド） ※

ヘ・アルタンゲレル／故郷へ逃げかえる馬について

ジェ・メンドアマル／モンゴル人について モンゴル民族歌 ※

セミファイナル：ツェ・ナツァグドルジ／ゴビの朝・らくだレースについて

ヘ・アルタンゲレル／モンゴル人と自然について モンゴル民族長唄

D. カプア／オーソレミオ ※

J. ビゼー（編曲ボルヌ）／カルメン・ファンタジー

ファイナル：上記「予選」と「セミファイナル」で、※の付いている5曲を演奏

公益事業 1

(2) 室内楽の演奏会の開催 (13,774, 681円)

1. 「グランプリ・コンサート2023」の開催

昨年は、「大阪国際室内楽コンクール2023」第1部門で優勝したクアルテット・インダコ（イタリア）を招いて国内11会場で実施しました。

出演：クアルテット・インダコ（イタリア）



鳥取公演



静岡公演



三重公演



大阪公演

公演日程 (2023年)

月日 / 曜日	公演名	会場
11月 1日 (水)	鳥取	鳥取市文化ホール
11月 3日 (金)	静岡	沼津市民文化センター 小ホール
11月 4日 (土)	三重	三重県文化会館 小ホール
11月 6日 (月)	大阪	住友生命いずみホール
11月 8日 (水)	富山	富山県高岡文化ホール 大ホール
11月11日 (土)	熊本	益城町文化会館
11月12日 (日)	大分	くにさき総合文化センター アストホール
11月14日 (火)	宮崎	小林市文化会館 小ホール
11月17日 (金)	横浜	横浜市鶴見区民文化センター・サルビアホール
11月18日 (土)	海老名	海老名市文化会館 小ホール
11月19日 (日)	東京	浜離宮朝日ホール

「グランプリ・コンサート2023」

全国協賛：大和ハウス工業株式会社

全国助成：公益財団法人 ロームミュージック ファンデーション

大阪公演協賛：パナソニック ホールディングス株式会社

大阪公演協力：野村證券株式会社

公益事業 2

(3) 室内楽に関する各種活動への助成 (4, 280, 843円)

2023 (令和5) 年度は選考委員会で決定した以下の事業に助成金を交付しました。

2023 (令和5) 年度 助成金交付事業

(単位：円)

	事業名	申請団体	開催地	開催月	金額
1	プーランク没後60年 パスカル・ロジェ×ウインドクインテット・ソノリテ プーランクの横顔	公益財団法人 京都市音楽芸術 文化振興財団	京都コンサート ホール アンサンブ ルホールムラタ	2023/10/21	150,000
2	訪問プログラム2023 (ICEP 6月日本訪問)	認定NPO法人 ミュージック・ シェアリング	日本全国の学校、 病院、高齢者施設 等20か所	2023/6/2～6/16	200,000
3	Musicasa Tsuchikanea アンサンブルシリーズ Vol.8ベートーヴェンの室内楽 part5 パイオニ ア・ベートーヴェンのピアノ三重奏曲②	Musicasa Tsuchikanea	HITOMI ホール	2024/2 (土日祝何れか)	100,000
4	第3回芦屋国際音楽祭	芦屋国際音楽祭 実行委員会	カトリック芦屋教会 ほか	2023/4/14 ～4/16	500,000
5	the violin sonate series ～5人のマエストロ×多川響子	Office TAGAWA	あいおいニッセイ 同和損保 ザ・フェ ニックスホール	2023/5/14, 10/20	200,000
6	葵トリオ 室内楽マスタークラス	一般財団法人 住友生命福祉文化 財団	住友生命いずみ ホール	2023/7/31～8/2	200,000
7	定期公演 B ～室内楽シリーズ Vol.16～Vol.20	特定非営利活動法 人 京都フィルハー モニー室内合奏団	京都文化博物館、 京都府民ホール アルティ	2023/5/26,7/22, 8/25,10/14, 2024/2/22	500,000
8	SQSアルカディア・クアルテット・ プロジェクト	横浜楽友会	横浜市鶴見区民 センター (サルビアホール)	2024/2/26,27,29	500,000
9	東京現音計画#19 ～ミュージシャンズセレクション7: 大石将記2	東京現音計画	杉並公会堂 小ホール	2023/7/4	150,000

合計：2,500,000

※8 「SQSアルカディア・クアルテット・プロジェクト」は中止となりました。

(4) 室内楽に関する広報誌の発行に関する事業 (4,144, 254円)

2023 (令和5) 年度は、以下の通り広報誌「奏」を刊行しました。

○「奏」59号 4月 5日発行 2,200部

○「奏」60号 9月27日発行 5,500部

※各号とも音楽関係団体、学校、ホール、財団関連企業、および無料DM会員に配布。

(5) 室内楽に関する調査研究事業 (3,058, 661円)

2023 (令和5) 年度は、以下の事業を実施致しました。

1, 国内のアジア音楽の演奏、普及活動の実例調査

2023年2月の実地調査を経て、6月に「琉球伝統芸能の現在」と題して報告書を作成し、関係者への配布と財団ウェブサイトへ掲載しました。

2, 「室内楽とのふれあいの場」創出に関する研究事業

室内楽の聴衆を育成する試みとして、子供を対象としたモデル事業を住友生命いずみホール（一般財団法人 住友生命福祉文化事業団）との共催事業として2回実施。

1) 「こどもクラシック ミュージックアトリエ Vol. 4」(無料招待)

開催日 : 2023年8月17日(木) 午前11時、午後2時 各回45分

会場 : 住友生命いずみホール(ステージ上で鑑賞)

演奏 : 江戸聖一郎(フルート) 福井麻衣(ハープ) 後藤彩子(ヴィオラ)

内容 : 楽器の音が出る仕組みを学びながらクラシック音楽を楽しむコンサート

参加 : 抽選による小学生と保護者 合計 45組 127名

2) 「こどもクラシック ミュージックアトリエ Vol. 5」(無料招待)

開催日 : 2024年3月1日(金) 午前11時、午後2時 各回45分

会場 : 住友生命いずみホール(ステージ上で鑑賞)

演奏 : 上敷領藍子(ヴァイオリン) 相原瞳(ヴァイオリン)

後藤彩子(ヴィオラ) 佐藤響(チェロ)

内容 : 童話の絵本を題材に楽器で色々な表情や心情を体感するコンサート

参加 : 抽選による小学生と保護者 合計 49組 105人

3, 調査研究委員会の開催

2023年度の調査研究の実施状況の報告と、2024年度の実施計画について検討を行いました。

開催日： 2023年10月20日（金）午前10時30分

2024年3月25日（月）午前10時30分

※場所はいずれも読売テレビ内会議室

○2024年度計画

- 1, フェスタの多様性に向けた検討
- 2, 次世代の「室内楽とのふれあいの場」創出
- 3, コンクールや室内楽組織とのネットワーキング

4, 国際音楽コンクール世界連盟（WFMIC）総会への参加

2023年6月1日（木）～3日（土）に浜松で開催された年次総会に出席、

同連盟に加盟する他の国内音楽コンクール関係者との情報交換、相互連携を促進しました。